

10SIENTA

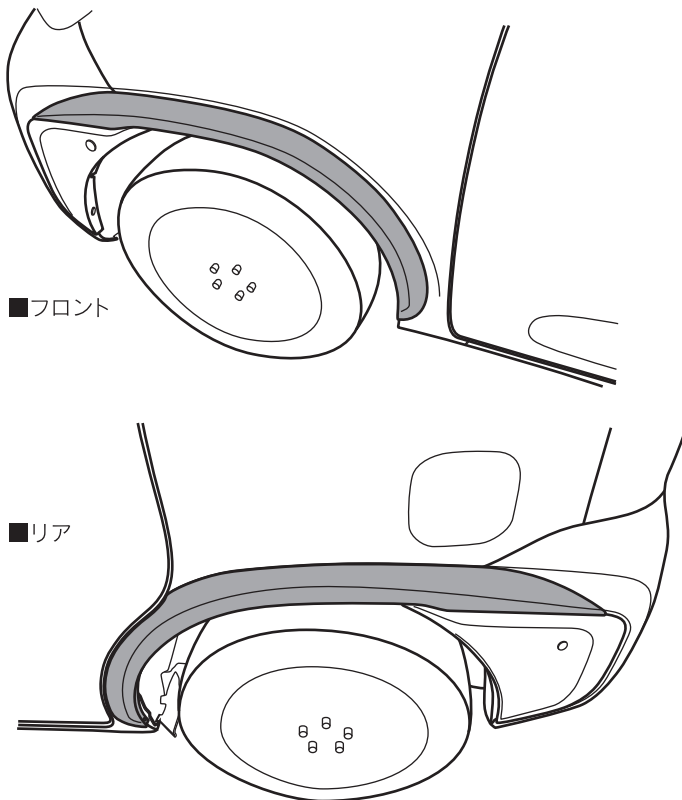
MXPC10, MXPL10/15 ('22.08 ~)



取付要領書

この度は、LX-MODE 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただくために、お買い求めの自動車用品専門店にてお取付けをお願いします。
本取付（取扱）要領書をよくお読みの上、正しく取付けを行って下さい。
取付け後は本書を必ずユーザー様へお渡しください。

■装着完成図 オーバーフェンダー



構成部品

No.	形状	品名	個数
①		本体 (Fr:R/L Rr:R/L)	各 1
②		タッピングビス (M4x12)	6
③		ゴムスペーサー (3mm)	2
④		PAC プライマー (赤)	2

構成部品（本体に組付済み）

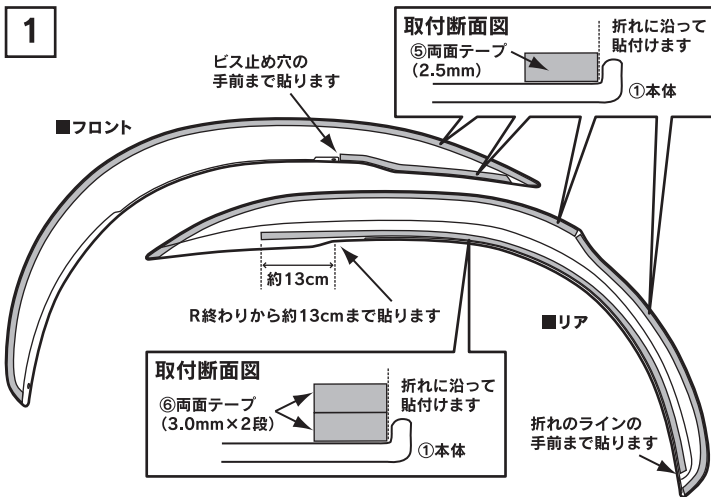
⑤		両面テープ (T=2.5mm)	14
⑥		両面テープ (T=3.0mm)	8
⑦		PAC プライマー (赤)	2

■オーバーフェンダー（車両助手席側で説明しています）

⚠ 注意事項

- ◆本製品は AES 樹脂成形品です。
- ◆開封後は取り付け作業を始める前に梱包内容（構成部品表参照）の不足や破損が無いことをご確認ください。
- ◆本製品は車両及び製品の誤差により一部加工が必要な場合がありますので、必ず最初に仮装着を行いフィットリングを確認してください。（車両にキズ等を付けないようにテープ等で保護してください）
- ◆無理な変形をさせると破損する恐れがありますので絶対に行わないでください。
また、これによって起きた破損はクレームの対象外となりますのでご了承ください。
- ◆本製品の加工・組付け不良・誤使用による不具合や事故などについては、弊社は一切責任を負いません。
- ◆両面テープの粘着を安定させるため、本製品を取り付け後 24 時間程度は強い衝撃を与えたり、洗車などの水に濡らす作業をおこなわないでください。
- ◆取り付け後の返品はご遠慮願います。

■製品へ両面テープの取付け(未組付けの場合のみおこなってください)



- 1** (1) ①の本体裏面の⑤⑥両面テープ貼付け面を 600 番程度の紙ヤスリで軽く荒らし、洗浄・脱脂処理後に⑦の PAC プライマー（赤）を塗布し下地処理をおこないます。

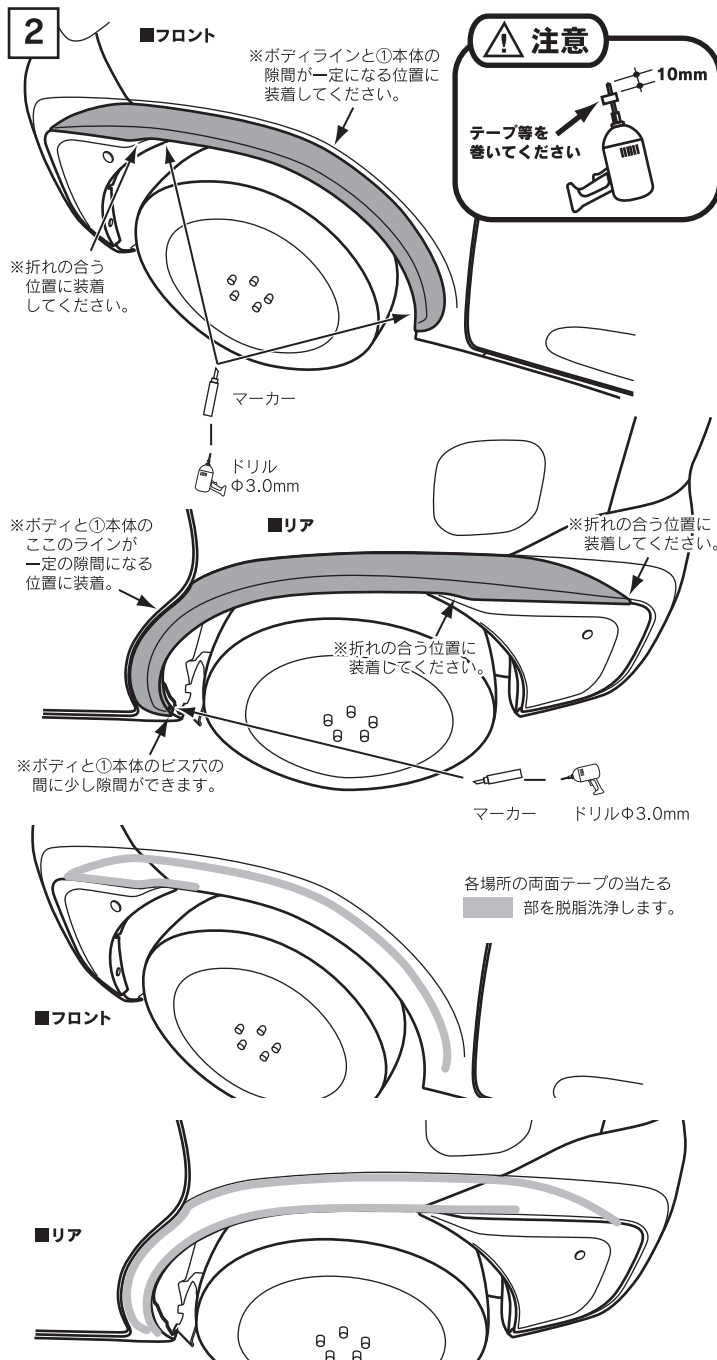
⚠ 注意

この時、PAC プライマーが両面テープ貼付け面以外の場所（特に表面）へ付着しないようご注意ください。製品の変色などの原因となることがあります。

- (2) 左図を参考に⑤⑥両面テープを本体へ貼付けます。

※ リアの下側は 3mm を重ね貼りして 6mm 厚になるように施工します。

■車両への装着準備



- 2** (1) ①本体を左右のバランスを確認しながら車両に仮付けし、取り付け位置を確認します。

- (2) ①本体のフロント 2 か所、リア 1 か所にある穴位置にマーカー等でマーキングします。

👉 アドバイス

マーキングの際には①本体を車両側に押さえて位置がズレないように注意してください。また、⑤⑥両面テープが面当たりしている事も確認してください。

- (3) ①本体を一度取り外し、マーキングした位置にφ3.0mmのドリルで下穴をあけます。

⚠ 注意

車両に穴をあける際はドリルの先にテープを巻くなどして、10mm 以上刃先が刺さらないように充分にご注意ください。

- (4) 車両の両面テープ貼付け部を脱脂洗浄します。

- (5) 脱脂洗浄した貼付け部に④PAC プライマー（赤）を使用して下処理をおこないます。

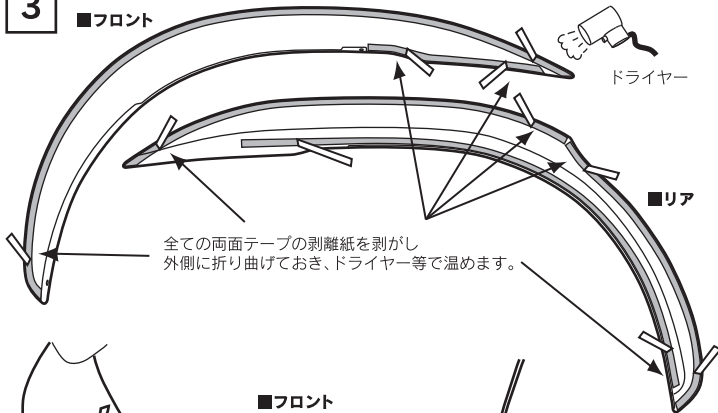
⚠ 注意

この時、PAC プライマーが両面テープ貼付け面以外の場所（特に塗装面）へ付着しないようご注意ください。塗装の変色などの原因となることがあります。

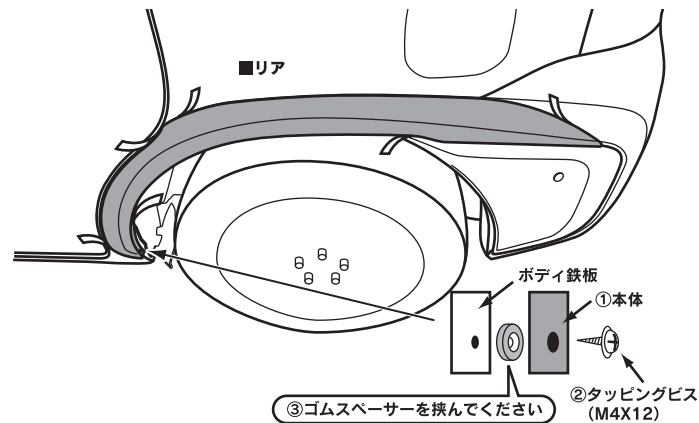
■車両への装着(本装着)

3

■フロント



■フロント

②タッピングビス
(M4X12)

■リア

ボディ鉄板

①本体

②タッピングビス
(M4X12)

③ゴムスペーサーを挟んでください

3

- (1) ①本体裏面の両面テープの剥離紙を両端を 5cm 程剥がして外側に曲げておき、テープをドライヤー等で温めます。

🔥 アドバイス

ドライヤー等で両面テープを温めることで、接着強度が増します。この時、火傷には十分ご注意ください。

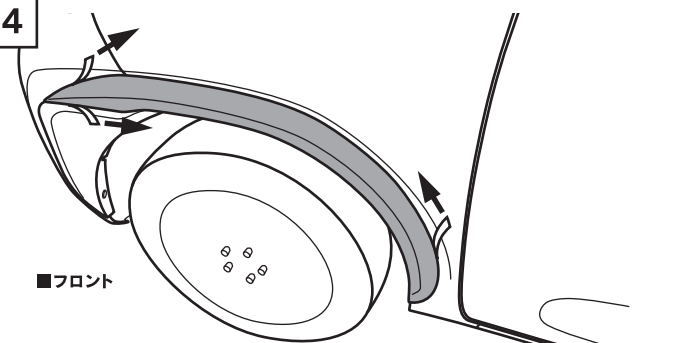
- (2) 仮付けの際に確認した取り付け位置と②(3)で開けた下穴の位置に注意しながら、①本体を車両の各部に装着していきます。

- (3) ②(3)で開けた各部の下穴に②タッピングビス(M4×12)を仮締めで装着します。

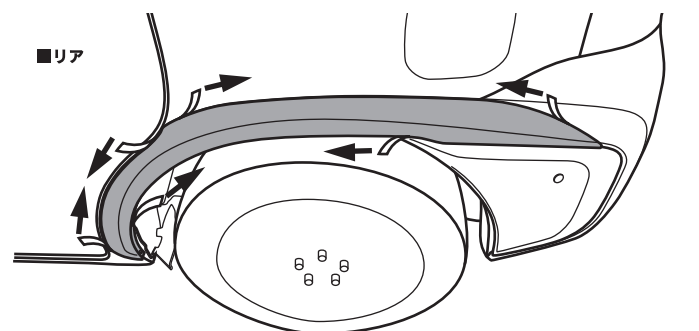
※ リアは下穴を開けたボディの鉄板と①本体の間に隙間ができるので、③ゴムスペーサーを挟んで、タッピングビスを締め込んだ際に本体がボディに寄りすぎないようにしてください。

4

■フロント



■リア



4

- (1) 車両全体のバランスを確認したら、①本体の折り返しておいた両面テープの剥離紙をゆっくり引き抜き圧着します。

- (2) 仮締めしておいた各部の②タッピングビスを本締めします。